

インターネット伝播

JJ1SXA 池

従来、電波伝播は、電離層反射や各種異常伝播を含む対流圏伝播という言葉で表されており、我々**6m**マンにとっては、異常伝播の**E**スポ層伝播が楽しく、このとんでもない伝播があるからこそ、**6m**は面白く、またマジックバンドとも呼ばれる所以だろうと思いますし、多くの**6m**愛好家が、他に**HF**をやり、**UHF・SHF**をやっても**6M**は止めることがないのだろうと思います。

21世紀のアマチュア無線先進諸国で、すでに一般的になってきているのは、インターネット伝播(**Internet Propagation**)という新しい言葉です。

電離層には国境がありませんが、インターネットにも国境が無いも同然です、はるか彼方の地球の裏側とも、小電力のハンディ機で通信できる環境は、「インターネット伝播」、正に言い得て妙です。

そんなのは無線では無いと、頑なにこだわる人もいますが、世界の流れがそうである以上認めざるを得ないのでは無いでしょうか。

こだわりを持って、アマチュア無線を楽しむことそのものは必要でしょう、インターネットを使った無線はやらないというこだわりは良いが、インターネットを使ったら、それは無線では無いというのは、こだわりでは無く、化石化した頭と言われかねません。

以前にも書きましたが、もはやアマチュア無線は、パソコン、インターネット無しでは十分に楽しむ事ができない世界になりつつあるような気がします。

勿論、そんなものは無くてもアンテナやプリアンプ等の自作、移動運用や、モバイル運用、ローカルラグチュー等々、楽しめる場があるのもアマチュア無線の良いところでしょうが、**VoIP**無線や、リモートシャックと「ドラエモンの何処でもドア」では無いが、

「何処でも、何処へでも無線」便利この上無しの無線環境は、インターネット無しでは実現できません、また、インターネットを使わなくても、**EME**で使われる**JT44**や**JT6M**モードの運用となると、パソコン無しではあり得ません、以前なら、**6m**で**EME**となると巨大なアンテナを必要とし、さらには、高性能のプリアンプが必需品でしたが、今はソフトでアンテナの性能をカバーし、**-30dB**以上も低いレベル(**30dB**と言えば、**1:1000**の世界です)を解読する事ができる機能は驚嘆ものです。

何処の世界でもカリスマと言われる人は沢山いますが、そんな人たちは、将来を展望する能力に長けており、パイオニア精神を持ち、新しいことに果敢にチャレンジした人達が今ある名声を克ち得ているのでは無いかと思いますし、日本のアマチュア無線の黎明期においても、そんな人達が無線技術の開発に試行錯誤を繰り返し、現在の基礎を築き上げてきました、これを伝承し発展させるのは後輩の義務と言えます。

話があちこち飛びましたが、**E**スポ層伝播を楽しむのと同じ感覚で、インターネット伝播を楽しむことにし、利便性を享受したいと思います。